

# いのち・とき・なかま

豊中五中  
学校だより  
H27 (2015)  
4.13 発行

## 新年度がスタート 64期生が入学しました



4月7日、校内の桜が美しく咲く中、第64回入学式が行われました。当日は、たくさんの保護者の方、来賓の方がお祝いにかけつけていただき、ありがとうございました。そして8日には3学年そろって始業式を迎え、期待と不安が交錯する中、新たな気持ちでスタートをきることができました。

本年度も引き続き校長として、五中の子どもたちと学校生活を共にすることになります大塚淑彦です。保護者の皆様には、このような「学校だより」を通して定期的に学校での様子や情報をお知らせしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 入学式から

吹奏楽部の演奏にあわせて64期生の入場で始まった入学式。新入生を迎えるために、新3年生のみなさんが、体育館の会場づくり、周辺の清掃、教室清掃や配布物の準備、後片付け等、一生懸命動いてくれました。また生徒会執行部の新入生引率、吹奏楽部の見事な歓迎演奏、とてもよく頑張っていました。多くの人たちの準備と歓迎の中で、64期生142名のみなさんを迎えました。お祝いの式辞の一部を紹介します。



これからの3年間、中学校生活を楽しく、充実して送ることができるよう、新入生の皆さんに期待することを、3つお話しします。

1つ目は、「新しい学校生活づくり」に参加してほしいということ。「新しい中学校生活を自分たちの手でつくる」という気持ちを持って行動してほしい、ということです。

この春、校舎の建て替え工事がようやく終わり、五中は全く新しい環境に生まれ変わりました。この数年間工事が続き、皆さんの先輩はプレハブ校舎で過ごしたり、通路が変わったり、様々な制約の中で生活してきました。64期生の皆さんは、入学した時から、新しい校舎を使える初めての学年なのです。五中が生まれ変わる巡り合わせの時、新しい学校生活づくりに、先生や先輩とともに、皆さんも力を発揮してほしいと思います。

中庭の渡り廊下には、生徒会活動の一つとして作ったスローガン「小さな思いやり・みんなできれば・大きな一歩」が掲げられています。友だちがいて、楽しく、安心して生活できる学校

生活、勉強やクラブにうちこめる学校生活を、自分たち自身の力で創造していきましょう。新しい校舎を使う原則は「安全に使う・気持ちよく使う・大切に使う」の3つです。この素晴らしい環境の中、自分の頭でよく考え、学校生活を自らの力でつくりあげていきましょう。

2つ目は「仲間づくり」です。この春卒業した、61期生が書いた作文の一部を紹介します。『修学旅行初日の夜、クラスミーティングをしました。普段言えないことや今のクラスの現状や課題について語り合いました。「もっとみんなで仲間のことを知っていきこう」「しんどい思いをしている人のことを考えよう」「全員そろって卒業したい」みんなが一人ひとりの話を聞き、思っていることを真剣に言ってもいいのだという雰囲気のできたので、自分の思いを素直に伝えることができました。クラスミーティングを通して、自分の思いを人に伝えるということは大切なことだ、と知ることができました。そこからクラスの雰囲気も変わっていったような気がします。』

新入生のみなさんには、この中学校生活で、信頼できる友だちを作ってほしいと思います。それは単なる遊び友達ではなく、しんどい時はしんどいと言える。何でも話せる、信頼しあえる。そんな友だち、仲間です。五中では、「いのち・とき・仲間を大切に」といつも言っています。

人には、それぞれに良さがあり、違いがあります。外見だけでなく、性格や考え方・生活環境など、いろんなことが違います。お互いの違いを認め、人を大切にする心をみがいてください。「隣の人の事を考えられる」、そんな皆さんであってほしいと願っています。

3つ目は、「自分を磨くこと」です。自分の課題を見つけ、それをのりこえていくこと、何事にもチャレンジする心、努力する気持ちを持ち続けてほしいということです。

学習活動はもちろんのこと、クラブ活動、生徒会活動、学校行事など、何事にも積極的に挑戦し、努力を続けてください。毎日の授業を大切に、家庭学習の習慣もしっかりつけていきましょう。しんどいことから逃げず、根気強く、努力することで、成長することができると思います。

すぐに思い通りにならないこともあります。時には壁にあたり、迷うこともあるでしょうが、自分を信じ、仲間と支え合い、自信を持って中学校生活をおくってほしいと願っています。みなさんのことを支え、応援している人はたくさんいます。

それを受けて、新入生代表（中川くん）から『先輩たちが築き上げてきた夢バトンを忘れず、夢へ一步一步近づいていきたいと思っています。』との力強い決意の言葉が語られました。

PTA 会長の言葉、小学校の先生方等からのお祝いメッセージ紹介、吹奏楽部による歓迎演奏（校歌の紹介とインスタントコンサート）のあと、担任・副担任の先生方の紹介をして入学式を終了しました。



# 始業式では

4月8日、新しい先生の着任式のあと、始業式を行いました。新年度のスタートに、次のような励ましのメッセージを伝えました。

64期生の皆さん、入学おめでとう。62期、63期の皆さん、進級おめでとうございます。新入生を迎えるその裏側では、新3年生、62期生のみなさんが、体育館の会場づくり、周辺の清掃、新入生の教室清掃、配布物の準備・後片付け等、一生懸命動いてくれました。とてもよく動いてくれていました。どうもありがとう。執行部の新入生引率はスムーズで気持ちよかった。吹奏楽部の歓迎演奏は大きな音で見事でした。さすが五中生と感じました。たくさんの人たちの準備と歓迎の中で、新1年生、64期生142名のみなさんを迎えました。

今日、3学年がはじめて揃って、新しい1年が始まります。2年、3年も朝から、クラス発表があり、新しい教室に入って、少し興奮気味ではないかと思います。誰と同じクラスか？担任の先生はだれか、新しい教室はどんな雰囲気か、ドキドキしていただいでしょうね。先生との出会い、友だちとの出会い、いろいろな出会い、出会い直しがある。これまで仲の良かった人と、同じクラスになったり、別のクラスになったり、いろんな思いがあるでしょう、1年生は、別の小学校から来た人と同じクラスになって、友達になれるかなあ、と感じている人もいると思います。

でも初めから、気が合って、気持ちが通じてほっとする、そんな友達関係があるわけではない。時間をかけて作っていくものだと思います。待っていては、本当の仲間づくりはできません。自分から話かけてみましょう。苦労して、悩んで、時にはぶつかったりして、こすれあって、つくっていくもの。1年間かけて、このクラスでよかったなー、そういえる1年後を、つくっていくってほしいと思います。

さて、今年度のスタートが今までと違うのは、言うまでもなく新しい校舎、環境が整ったということです。工事がようやく終わり、他にはない素晴らしい校舎ができあがりました。見学される人はみんな驚きます。こんな校舎は他にはありません。きれいな校舎を本当に大切に使ってほしい、と心から思います。建物はできても運用はこれから。この環境に慣れる、環境を生かすことを考えていきましょう。例えば水やり、掃除当番。先生方と生徒のみんなで、力を合わせて、最近の言葉でいえばコラボ（協働）して、新しい学校生活を作っていきます。

入学や進学。新しい年のスタートの今。今年がんばるぞ、という気持ちを皆、持っているはず。3年生はいよいよ義務教育最後の年、進路を決めていく節目の年です。最高学年になる気持ちを作って始業式に臨んでほしいと、昨年末に話していましたが、心構えはできていますか？昨日の姿を見ていると、自覚ができてきたなあ、感じました。3年になったらがんばるねん、そんな気持ちを持っている人が多いと思います。今の気持ちを大事にしてほしい。卒業生も言っていましたが、「しんどいときこそ支えあう」、その関係をどこまで作れるかが大事、ですね。1日1日を大切に、過ごしてください。

2年生はクラブや生徒会など、学校の中心になっていきます。大いに活躍してください。いろんなことにチャレンジできる年。のびのび豊かに、中学校生活の中身を増やすのは2年生。クラブでは後輩が入ってきて、先輩になります。学習内容もぐっと増える。昨年末の学年集会でしっかり振り返りができていた。周りのことよく考えられる今の姿勢を大事にして下さい。

1年生は中学生になって、期待と不安、緊張感が伝わってきます。昨日桜の前で家族で記念撮影をしている姿がたくさんありました。中学生になったうれしさが伝わってきました。これからがんばろう、やってみよう、、、、いろんなことで胸がいっぱいかもしれませんね。初めてのことばかりで、緊張すると思うけれど、周りの人も同じです。自分がしてもらったらうれしいことを隣の人にしてみよう。友達をつくっていきましょう。入学式で、新入生に期待すること、3つ話したことを覚えていますか？ 心にとどめておいてもらえるとうれしいです。

どの学年の人にも共通して言いたいこと=今は節目、心機一転、自分をよりよく変えるチャンス、成長するチャンスです。昨年までの自分を振り返り、良かったところ、頑張っていた所は、もっと伸ばす。アカンかったところ、良くなかったところは直す。だらだらしてしまっていることがもしあったら、気持ちを切り替える。そして頑張ろうとしている仲間を支える、足をひっぱらない。以前にも言いましたが、『1人の100歩より、100人の一歩』が大きく、強いです。気持ちも新たに、1年間、元気ががんばっていきましょう

## 対面式では

始業式の後、1年生と2・3年生が初めて出会う場としての対面式を行いました。生徒会長（山本くん）、新入生代表（中上くん）それぞれが、歓迎の言葉、抱負の言葉をしっかり話してくれました。役員から各クラスに鉢植えの花が送られました。緊張の中にも、温かい雰囲気が感じられ、良い「出会い」ができたと感じました。

